

情報提供事業

1 中央公民館

館報「中央公民館だより」の発行

- ①公民館事業や学習団体等の各種情報を提供する。発行部数4,040部／月。A3両面刷り2つ折り。
- ②本庁管内自治会（63自治会回覧）及び関係機関等に配布。
- ③発行：毎月1日発行。
- ④仕様：A3サイズ両面刷り2つ折り。
- ⑤なお、事業等の案内は、別途案内チラシ等で情報提供することもある。

ホームページ・Instagramを活用した情報提供の充実

各種講座やイベント案内、公民館利用に関すること等について、ホームページやInstagramで情報提供を行う。定期的にホームページに掲載されている内容の見直しなども行う。Instagramでは、特に講座やイベント案内を発信する。

中央公民館学習団体一覧パンフレットの作成

中央公民館学習団体の一覧を作成し、公民館窓口に設置して広く配布する。また、市民の学習ニーズに応えるため、パンフレットを基に学習団体の情報提供を行う。

まえばしCITY エフエムを活用した周知

中央公民館学習団体の会員募集や中央公民館のイベント等を周知するため、月に1度（基本は、第3水曜日12：25から12：40）まえばしCITY エフエムを活用した情報発信を行う。

2 上川淵公民館

館報発行

- (1) 館報「上川淵」を12回（毎戸配布）年間138,000部発行。
（11,400部／月）

- 上川淵地区全世帯及び関係機関等に配布。
- 住民に必要な各種情報を提供している。
- 発行：毎月1日発行。
- 仕様：A4サイズ2ページ（両面刷り）。

※なお、事業等の案内は、別途案内チラシ等で情報提供することもある。

(2) その他～本事業外のものとして次の情報提供も行っている。

- 上川淵公民館利用者グループ団体連絡協議会の「連協たより」年2回。(本年度については1回のみ)
- 上川淵地区青少年健全育成会の「会報」年1回
- 郷土民俗資料館（上川淵地区自治会連合会で設置）の「資料館だより」
- 上川淵地区地域づくり協議会の「地域づくり協議会だより」（随時発行）
- 最新の情報を提供するため、ホームページの更新（定期的には毎月1回、ほか必要に応じて随時更新）、Facebookによる情報提供を行っている。

スマホ講座

(1) ねらい

- ① コロナ禍において、より一層デジタル化が加速し、それに対応する為スマートフォンを学ぶ機会を設けることで、デジタル・ディバイドを解消する。
- ② スマートフォンを活用することで市民の利便性を高める。

(2) 対象等

- ① 対象：市内在住者
- ② 周知方法：館報及び館内掲示、チラシ配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3月21日(木) 9:30-11:30	「スマホ操作講座・ 初級編」	講座	NPO 法人教育支援協 会北関東	14
2	3月21日(木) 13:30-15:30				15

(4) 評価と反省

申し込みの時点で多くの問合せがあり、関心の高さを感じた。また、講座当日、参加者は皆熱心に取り組んでおり、時間一杯質問等をしていた。

講座実施後に次のスマホ講座はいつか、などの問い合わせを数件受けた。スマホに関する講座はまだまだ需要が高いと感じた。また、LINE やペイペイなど諸アプリについて興味を示している受講者もいたので、その辺りもカバーできるように、講座を企画する必要があると感じた。



講座の様子

3 下川淵公民館

(1) 「館報下川淵」の発行

①下川淵地区全世帯及び関係機関等に配布し、住民に必要な各種情報を提供している。

②A3判両面刷りで毎戸配布（3,858部/月）。

③公民館事業の紹介、前橋市からの情報、各種団体事業の紹介などを掲載し、毎月1日発行、特別号（文化祭）発行している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

最新の情報を提供するため、ホームページの更新（必要に応じて随時更新）による情報提供を行っている。

(3) 「下川淵アイアイ」の発行

①毎月1日発行（平成14年5月創刊）

②A3判両面刷りで毎戸配布（3,858部/月）

③発行：「下川淵アイアイ編集委員会」発行責任者：自治会連合会長

下川淵地区の「自治会連合会だより」「青健だより」「社協だより」を統合し、各種団体や下川淵小・七中の事業の紹介、地域の話題などを掲載。公民館が事務局となり、月1回編集会議を開催。編集委員は各種団体から選任され、記事作成を行う。

4 芳賀公民館

(1) 公民館報「芳賀」の発行

①公民館の主催事業、各種団体の事業のお知らせや事後報告、市民サービスセンター業務のお知らせ、図書館新刊図書のご案内をしている。公民館報は最

新号とともに過去4年間に発行されたものをホームページに掲載している。

②A4判 両面刷り毎月1回発行（1日号）

③地区内全戸（3,333戸/月）及び関係機関に配布している。

（2）ホームページを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に芳賀公民館のページを展開。施設概要のほか、公民館の主催事業、地区行事、市民サービスセンター業務などを掲載。また、主催事業や地区行事などの地域情報については、常に最新情報を紹介している。

（3）公民館利用グループ連絡協議会「まなび連協」

A4判両面刷り、年2回発行、回覧。

（4）各種案内書、公民館事業のチラシを回覧または毎戸配布

5 桂萱公民館

【動画配信】YouTube 動画講座「空から桂萱見よう！」

（1）ねらい

①上空から撮影された動画で桂萱地区の公共施設や名所等の位置関係を紹介する。

②ドローンを活用した動画配信により、桂萱地区の興味・関心を高めるのと同時に地区住民に対しては地域再発見に寄与する。

③新しい視点・角度からのこれまでにない地域紹介を図る。

（2）対象等

対 象：一般市民（どなたでも）

周知方法：公民館報掲載にて情報発信

撮影日時：7月6日 10:00～11:00

撮影場所：桂萱中学校第2グラウンド（桂萱公民館南側）

撮影内容：ドローンにて上空から桂萱地区の景色を撮影する

（3）内容

回	配信日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者	回数
1	7/13 配信	桂萱地区の風景での紹介 動画	視聴 実習	秘書広報課	438 3/31 現在

（4）評価と反省

今回、新しい視点からの桂萱地区の紹介事業として秘書広報課の所有するドローンを活用し桂萱地区の上空からの景色を動画撮影し、その動画を編集・紹介字幕などを入れたものを市公式Youtube動画にて動画配信しました。

撮影当日は天候も良く、秘書広報課職員の操作によりドローンの撮影は順調に進み、桂萱公民館上空からの景色を高画質にて撮影できました。ドローンでの撮影時の注意として、個人の特定できるような人物像や洗濯物などの映り込みなどに注意しながら撮影や編集を行いました。今後もいろいろな手法を用いて桂萱地区の紹介を継続的に行いたいと感じました。



サムネイル画像



配信画面

桂萱スマホ教室

(1) ねらい

- ①コロナ禍においてより一層デジタル化が加速し、それに対応するためスマートフォンを学ぶ機会を設けることで、デジタル・ディバイドを解消する。
- ②スマートフォンを活用することで市民の利便性を高める。
- ③企業が行う社会貢献事業の積極的な活用。

(2) 対象等

対 象 者：桂萱地区内在住の方

【Aコース】20名 【Bコース】20名 合計40名

受 講 料：無 料

周知方法：館内チラシ設置、公民館報桂萱等

(3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者	人数
1	8/7(月) 10:30～ 12:30	A：スマートフォン入門編	体験	ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー	10
2	8/7(月) 14:00～ 16:00	B：LINE等アプリを使おう！	体験	ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー	17

(4) 評価と反省

情報化社会における情報通信技術を利用できる人と利用できない人の間に生じる格差「デジタル・ディバイド」解消の一環としてスマホ教室を実施しました。

今回もソフトバンク株式会社の社会貢献事業を活用し、ソフトバンクスマホアドバイザーを講師に招き、Aコースをスマートフォンの初心者を対象とした「スマートフォン入門編」、Bコースを「LINEを使おう！」と題してLINEアプリを体験する内容を行いました。教室用のスマートフォンについては講師が講習用の端末を用意していただいたため、スムーズに教室を進めることができました。参加者からは楽しかった、教室の回数を増やしてもらいたいなどの声が聞こえ、今後も地域情報格差解消事業を継続的に展開していきたい。



A：スマートフォンの基礎を学ぼう



B：LINEを使ってみよう！

桂萱公民館インターネット(タブレット)体験会&クールシェア

(1) ねらい

- ①情報端末に(タブレット)に直接ふれることにより、地域住民にインターネットに対する興味・関心を高める。
- ②市ホームページ等の閲覧を通して市情報の伝達推進を図ると同時に夏期クールシェアスポットを提供する。
- ③定期的に公民館にて体験会を実施することにより、率先してデジタル情報の取得・活用に取り組む習慣を身につける。

(2) 対象等

対象：どなたでも(無料)

周知方法：公民館報「桂萱」に掲載、市HP、Instagram等で情報発信
申込み不要で直接会場に来ていただく方式にて実施

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/14(月) 9:00~12:00 13:00~16:00	インターネット(タブレット)体験会	体験	桂萱地区地域づくり推進協議会	7

(4) 評価と反省

桂萱地区地域づくり推進協議会と共催にて、情報化社会における情報通信技術を利用できる人と利用できない人の間に生じる格差「デジタル・ディバイド」解消の一環としてインターネット（タブレット）体験会並びにクールシェアとして会議室を開放しました。

ホームページの閲覧や市公式のYoutube動画に掲載されている桂萱公民館講座の視聴などを行うと同時に参加者からの簡単な質問等に職員で対応しました。参加者は実際に端末にふれながらインターネットを体験することによりインターネットを活用して情報取得の意欲や活用に積極的になることを実感しました。また、クールシェアスポットとしても会議室を開放したことにより参加しやすい環境やスペースを確保することが出来たと感じました。



会場（会議室）



体験会の様子

【動画配信】YouTube 動画講座

桂萱Kitchen ゼミ～パタパタおにぎらずを作ってみよう！～

(1) ねらい

- ①公民館事業として定着してきた動画配信にて家庭でもできる料理部門として、オンライン方式の公民館講座を実施する。
- ②講座内容は、長引く昨今の地域社会の状況を鑑みて、日常生活に関する内容で構成し、前橋市公式 YouTube 経由で配信する。
- ③居住地区や年齢に関係なく、どなたでも視聴を可能とする。

(2) 対象等

対 象：一般市民（どなたでも）

周知方法：公民館報掲載にて情報発信

撮影日時：9月20日 14：00～15：00

撮影場所：桂萱公民館調理実習室

撮影内容：オンライン方式の公民館料理講座を実施する。

題材「おにぎらず」

(3) 内容

回	配信日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者	回数
1	10/11 配信	おにぎらず (握らないおにぎり)	視聴 実習	桂萱地区食生活改善推進委員会	387 3/31 現在

(4) 評価と反省

桂萱地区食生活改善推進委員会の協力により、市公式Youtube動画にて、握らないおにぎり「おにぎらず」の調理方法やレシピなどを動画配信しました。

撮影日には、団体が準備した材料や撮影事前の仕込みをしていただき、打合せの段階から普段の食改推の活動の経験により、調理や材料の説明、誰でも簡単に出来るようにおにぎらずのポイントの紹介など丁寧に且つスムーズに撮影を進めることができました。



サムネイル画像



調理の様子

秋季桂萱スマホ教室

(1) ねらい

- ①一層デジタル化が加速し、それに対応する為スマートフォンを学ぶ機会を設けることで、デジタル・ディバイドを解消する。
- ②スマートフォンを活用することで市民の利便性を高める。
- ③企業が行う社会貢献事業の積極的な活用。

(2) 対象等

対象者：桂萱地区内在住の方 20名

受講料：無料

周知方法：館内チラシ設置、公民館報桂萱等

(3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者	人数
1	10/31(火) 10:30~ 12:30	LINEやスマホ決済を使おう!	体験	ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー	19

(4) 評価と反省

情報化社会における情報通信技術を利用できる人と利用できない人の間に生じる格差「デジタル・ディバイド」解消の一環としてスマホ教室を開催しました。

前回に引き続き、ソフトバンク株式会社の社会貢献事業を活用し、ソフトバンクスマホアドバイザーを講師に招き、LINE体験並びにスマホ決済（キャッシュレス支払い）について講義を行いました。教室用のスマートフォンについては講師が講習用の端末を今回も用意していただいたため、スムーズに教室を進めることができました。

初めて講座に組み込んだスマホ決済ではPayPayを題材にキャッシュレス支払い・チャージ方法や使える店舗などの説明や管理方法などの機能について参加者は積極的に学んでいました。

今回の参加者からはとても勉強になった、教室を定期的で開催してもらいたいなどの要望が聞かれ、今後も地域情報格差解消事業を継続的に展開していきたい。



教室の様子



教室の様子

桂萱公民館冬季インターネット(タブレット)体験会

(1) ねらい

- ①情報端末に（タブレット）に直接ふれることにより、地域住民にインターネットに対する興味・関心を高める。
- ②市ホームページ等の閲覧を通して市情報の伝達推進を図る
- ③率先してデジタル情報の取得・活用に取り組む習慣を身につける。

(2) 対象等

対象：どなたでも

周知方法：公民館報「桂萱」に掲載、市HP、インスタグラム等で情報発信
申込み不要で直接会場に来ていただく方式にて実施

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	2/22(木) 9:00~12:00	冬季インターネット(タブレット)体験会	体験	桂萱地区地域づくり推進協議会	7

(4) 評価と反省

桂萱地区地域づくり推進協議会と共催にて、情報化社会における情報通信技術を利用できる人と利用できない人の間に生じる格差「デジタル・ディバイド」解消の一環としてインターネット(タブレット)体験会について今年度2回目を開催しました。

今回はホームページの閲覧や市公式のYoutube動画に掲載されている桂萱公民館講座の視聴などを行うと同時に参加者からの簡単な質問等に職員で対応しました。参加者からは民間の携帯ショップでは待ち時間が長い、初歩的な質問では店舗へ行きづらいなどの意見があり、公民館でのこのような気楽に自由に参加できる体験会など少しずつではあるがデジタル・ディバイドの解消に関するいろいろな事業を継続的に展開していきたいと感じました。



冬季インターネット体験会の様子

6 東公民館

情報発信事業

(1) 公民館だより「あずま」の発行

- ①住民参加による館報編集委員5名の編集委員会を月2回開催し、館報裏面を作成している。
- ②館報は毎月1日発行。地域の人口増加に伴い毎戸配布(14,990部×12カ月)も年々増えている。
- ③表面は、公民館主催事業、地区内行事、各種団体行事、市事業案内などを

掲載し、裏面は、編集委員の取材記事などを掲載する。

今年度は、5月・6月・7月号では東地区の紹介として、東地区の写真や雷電神社の石碑、東の農村生活の紹介。8月号は、年々薄れていく戦争の記憶を再掲載。9月号は、敬老の日にあわせ地区内の元気な高齢者へのインタビュー記事。10月号は、のびゆくこどものつどい、11月、12月号は、文化祭の記事を掲載。2月号では地区の新成人からの抱負なども掲載した。コロナが5類となり、ほぼ従来通りのイベントが開催となり掲載することができた。地区内の情報を住民が興味を持つよう発信している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に東公民館のページを展開。施設概要の他、公民館主催事業、地区行事、市民サービスセンター業務などを掲載。

(3) 公民館内モニターにて来館者への情報提供

自主グループの活動紹介を兼ねて、文化祭の様子を放映。館内利用者へ周知を図った。



自主グループ活動紹介を兼ねた文化祭の様子を上映

公民館DX事業

スマホLINE講座①②③

(1) ねらい

①スマートフォンの活用が広がる中、代表的なアプリの一つである「LINE」を便利に使うための基本操作を体験すると共に、地域住民のデジタルスキルとメディアリテラシーの向上を図る。

②講座での学びを通じて地域活動へ還元する人材を育成する。

(2) 対象等

対象：東地区の住民

周知方法：館報に掲載

会場：東公民館第2・3会議室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/29(水) 6/30(木) 10:00~11:30	【1日目】 ①各種スマホ設定、②LINEとは、③LINEの起動、画面の確認、機能紹介「ホーム・トーク」、設定1「アイコンの変更」、④LINEの設定2「プライバシー管理」、「友だち」、「トーク」⑤友だちの追加「QRコードによる登録・紹介」、⑥質疑応答	実習	(株)ジーシーシースタッフ 新井 久子 氏他	11
2	7/31(月) 8/1(火) 10:00~11:30	【2日目】 ①1日目のおさらい、②トーク「送信・受信回数」、③スタンプ「無料ダウンロード」、④写真の送受信、保存、⑤通知設定「通知オフ・ブロック・削除」			10
3	8/29(火) 8/30(水) 10:00~11:30				10

(4) 評価と反省

昨年度大好評で継続希望の声が多かったため今年度も実施した。周知は公民館報に掲載のみであったが、申し込み開始後1時間ほどで定員いっぱいになった。参加者のほとんどが70代と80代であったが、毎回真剣に取り組む姿が見受けられ、ニーズの高さを感じた。ジーシーシースタッフの講師陣もとても分かりやすく熱心に指導してくださり、地域住民のデジタルスキル向上の目的を果たすことができ感謝している。



基本操作の確認



参加者同士で教え合う姿も見受けられました！

7 元総社公民館

(1) 「かんぼう元総社」の発行

①公民館の主催事業、各種団体の事業のお知らせや事後報告、市民サービスセンター業務を掲載し、毎月1日に発行している。平成25年10月号以降、サイズをA3版裏表半折で作成している。

②毎戸配布部数は約9,050部、年間配布部数約108,600部。発行日に合わせ、インターネット閲覧できる電子版の館報も作成し、市役所ホームページ経由で閲覧を可能としている。

③紙面拡大後の、地域団体やサークルによる記事掲載依頼も多く受けている。掲載情報が多いが、見出しを大きくし、目立たせることで、記事内容が分かりやすいように配慮している。また画像や、イラストなども多く取り入れ、目で見ても楽しめる館報を目指している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

インターネット経由の情報発信は、行事等速報を迅速・広範に提供できる。ホームページを活用した。目で見てもわかりやすいように色づかいやイラストなどを工夫し、より興味を引く内容で情報を発信するよう心掛けた。

8 総社公民館

情報提供事業

(1) 公民館報「そうじゃ」の発行

公民館主催事業や地域行事、文化財の紹介等を掲載し、地区全戸に配布した。
(6,386部×12月 年間76,632部)

令和5年度については、地域でのイベントが復活し、活動の事前の周知、イベント開催の報告などを写真掲載の上、詳細にお伝えすることができた。また、主催講座の参加者募集記事なども掲載し、公民館に来ていただくきっかけ作りとなった。



(2) ホームページを活用した情報提供の充実

より多くの地域住民へ周知するため市ホームページを活用し、各種情報提供も行った。

9 南橋公民館

(1) 「公民館報南橋」の発行

①公民館主催事業、地区内の各種団体行事のお知らせ及び結果報告、行政からのお知らせ等を掲載し、毎月1日に地区内毎戸配付(約18,000)している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ上に南橋公民館に関する情報(公民館の概要、取り扱い業務、周辺地図、公民館の部屋利用、自主学習グループ一覧、館報)や講座情報などを掲載した。

10 清里公民館

(1) 公民館だより「きよさと」の発行

①公民館主催事業、地区内各種団体行事のお知らせ及び結果報告、行政からのお知らせ等を掲載し、毎月1日に発行している。

②A3判2ページ両面印刷で地区内全戸配布(1,308部/月)している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に清里公民館のページを展開。公民館だよりをはじめ施設概要、学習グループの紹介や主催行事等の告知を行っている。また「清里まちづくり協議会」の活動状況を掲載している。

11 永明公民館

(1) 「館報えいめい」の発行

①公民館主催事業、地区内各種団体行事のお知らせ及び結果報告、行政からのお知らせ等を掲載し、広報と同日の毎月1日に発行している。

②A4版2ページ両面印刷で地区内全戸配付(9,890部/月)している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に公民館報をはじめ各種事業紹介のページを展開している。

(3) 各町自治会会報の展示及び交換

天川大島町本町・天川大島原町・野中町・上長磯町・下長磯町・女屋町・東上野町・小島田町・駒形町・筑井町（管外）・小屋原町（管外）・上増田町（管外）の各町で作成している会報を公民館内に展示するとともに、各町会報の交換を行っている。

(4) 団体等の印刷物の展示等

公民館利用グループ連絡協議会会報など、随時展示を行っている。

1 2 城南公民館

(1) 公民館報「城南」の発行

①公民館事業並びに地域の問題などを掲載し、毎月1日に発行している。

②B4版両面印刷で地区内全戸配布（6,300部/月×12回、累計約75,600部発行）している。公民館、図書館分館にも設置。

③10月1日（文化祭のお知らせ等）は文化祭特集記事を掲載しているため、A3版に拡大している。

(2) ホームページ・インスタグラムを活用した情報提供の充実

市ホームページに公民館報、インスタグラムに行事のお知らせ等を掲載し、広く情報提供を行っている。

1 3 大胡公民館

スマホ教室

(1) ねらい

①デジタル化が急速に進む中で、世代等による情報格差の解消を目指して学習機会を提供する。

②スマートフォンに触れ、実際に操作することにより活用力を高め生活の利便性向上につなげる。

(2) 対象等

対象：大胡地区内在住者

周知方法：公民館報に掲載、地区内にチラシ回覧

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/17 (水) 10:00～11:45	・インターネットを使おう ・マップを楽しもう	実習	ドコモショップペイ シア前橋モール店	8
2	1/17 (水) 13:30～15:15	・アプリを楽しもう ・マップ(ナビ)を使いこなそう	実習	ドコモショップペイ シア前橋モール店	6
3	1/23 (火) 10:00～11:30 13:30～15:00	・LINEをマスターしよう 午前：概要、基本設定 午後：トーク、スタンプの取り方	実習	(株)ジーシーシー スタッフ	7

(4) 評価と反省

スマホ教室は、例年人気の講座であるにもかかわらず第1回及び第2回は非常に少ない申し込みとなった。所有のスマホを使用して学習主題を絞った内容としたことで難しく感じられたことや、同時期に「デジタルよろず相談所」が大胡公民館を会場に何度か開設されてそちらに参加した方もいたようで、他事業との重複や学習内容の設定などを反省点としたい。

第3回は、LINEを初めて取り入れたが、受講者のスマホを利用して講師とトークを行いながらの実習は、人数もちょうど良く満足度の高いものとなった。家族や友人・知人とのコミュニケーションに積極的に活用してほしい。



スマホ講座の様子



LINE講座の様子

大胡公民館「館報」の発行

①公民館主催事業や地域の話題、地区内の各種団体行事のお知らせ及び結果報告、行政からのお知らせ等を掲載し毎月1日に発行している。

②A4判両面印刷で地区内に毎戸及び関係機関に(約6,500部×12回、累計約78,000部発行)配布している。また、大胡公民館本館及び別館にも常時備え置き、正面玄関ロビーにカラー版を掲示している。

ホームページを活用した情報提供の充実

市ホームページに公民館報や公民館施設の概要、公民館施設を利用し活動する学習グループの紹介、公民館主催事業の案内等を掲載し、広く情報提供を行っている。

14 宮城公民館

(1) 「公民館報 みやぎ」の発行

①公民館主催事業の案内、行政からのお知らせ、各種団体の事業、学校行事などを掲載し、毎月1日に発行している。

②A3判両面刷りで地区内全戸配布(2,400部/月×12回、累計28,800部発行)している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

公民館施設の概要や公民館施設を利用し活動する学習グループの紹介、公民館主催事業の案内等を掲載し、広く情報提供を行っている。

(3) ロビーなどでの掲示や展示

15 粕川公民館

(1) 館報「粕川」の発行

①公民館事業、公民館利用グループ等各種団体の行事や情報を掲載し、毎月1日に発行している。

②A3版両面印刷二つ折りで地区内全戸や関係機関に配付(3,700部/月×12回、累計44,400部発行)している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

市ホームページを活用し、広く情報提供を行っている。

16 富士見公民館

館報

(1) 「館報富士見」の発行

①公民館主催事業の紹介や地域の話題、各種団体の行事等を掲載し、毎月1日に発行している。

②A4版両面印刷で地区内全戸及び関係機関に配布(8,100部×12回、累計97,200部発行)している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実
市ホームページを活用し、広く情報提供を行っている。

スマホ教室

(1) ねらい

①シニア世代や地域等によるデジタル・ディバイドが生じないように、情報活用能力を習得できるよう学習機会を提供する。

②スマートフォンに興味があっても使い方がわからない地域住民が安心・安全な使用方法や、必要な情報の検索等の操作方法を知る機会とする。

(2) 対象等

対象：富士見地区在住者 各回20名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	7/11(火) 10:00~12:00	入門編 ～スマホを使ってみよう～ 使い方の基本操作	講義	ドコモショップ前橋東店 スタッフ	16
2	7/14(金) 10:00~12:00	基本編 ～ネット検索してみよう～ インターネット検索など	講義	ドコモショップ前橋東店 スタッフ	19

(4) 評価と反省

今回は入門編と基本編の2回実施した。入門編ではスマートフォンを持っていない人向けで募集したが、実用的な操作の説明までいかなかったため、一部の参加者には物足りないようだった。一方、基本編の内容はWi-Fiやネット検索だったが、参加者の半数には難しいようだった。参加者に自分のレベルにあった回に参加してもらおう難しさを感じた。アンケートに講座の回数を増やしてほしいとの要望があったので、検討したい。



入門編



基本編